

月刊 おかじょうき

おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



誌上句会「0番線」

兵頭全郎・むさし 選

2026

2



題「庫」	兵頭全郎 選	4
	むさし 選	6

無人駅鑑賞「カンテラ」	むさし	8
-------------	-----	---

会員雑詠集「無人駅」		11
------------	--	----

■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 1 月例会	23
十和田たてがみ川柳会 12 月句会報	30

チャッピーの人間観察録「待 AI 室」	29
---------------------	----

Infomation	52 ～
------------	------

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！
というあなたへ

2 月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PC とプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すれば OK です。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することが出来ます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することが出来ます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3 モノクロ 1 ページ：約 20 円／ A3 カラー 1 ページ：約 100 円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

0番線

選 兵頭全郎 「庫」 題

【佳作】

書庫にでる幽霊わすれものは何
酒蔵の奥からひよいとぬらりひよん
庫内で冷やす引つ込み思案と固定観念
リュックには斜めに読んだ文庫本
文庫本持つてはまなすごろ寝席
文庫本の黄ばみ 温んでゆく湾
岩波文庫の浅瀬に溜まる砂
白檀の香に目覚める書庫の紙魚
自爆する覚悟で書庫を背負つて
眠らせる私編マントラ書庫の底
月が開くいつまで月なのか零す夢
嬌声をあげて支度をしてる庫裡
冷蔵庫は空冬眠に入ります
冷凍庫このままですか虹ですか
逃げ道は金庫の中に置いてある
金庫には青いレモンを入れておく

大阪府 宮井いずみ
青森県 須藤しのすけ
奈良県 柳本恵子
青森県 辻井洋子
茨城県 小松憲一
静岡県 米山明日歌
静岡県 米山明日歌
大阪府 笠嶋恵美子
青森県 まみどり
青森県 吉田州花
青森県 田中 薫
青森県 戎 踊兵
福岡県 城後朱美
愛媛県 郷田みや
青森県 まきこ
三重県 奥田悦生

空っぽの車庫に二本の秋日傘
主失せた書庫を死守する山椒魚
白亜紀がふさぎ込んでる冷凍庫
解体の倉庫にあった影と居る

愛媛県 郷田みや
青森県 夏草ふぶき
青森県 熊谷冬鼓
青森県 坂本清乃

【秀逸】

サカキの根伸び行く先の金庫室
広へは前向きで駐めてください
空っぽの金庫は隅で浮いている

青森県 守田啓子
徳島県 徳長 怜
青森県 辻井洋子

【特選】

手続きを経てガレージは懺悔室

兵庫県 n e s

選の基準として没とした理由を。まず前提として創作であることと句意が17音を下回らないことが最低条件で、ここで結構脱落する。

減点対象として、世間一般の価値観

選 評

に甘んじたもの。経年劣化しやすい時事的話題。熟語・成語の誤用、作為的でない造語。い抜き・ら抜きの字数合わせでの混用など。

その上で入選と没との差は（相対的

兵頭全郎

なこともあるが）読み手へのアプローチのキャッチーさや意表の強さよりも、句自体の懐の深さで評価しているつもりである。

0番線

選 題 「庫」 むさし

【佳作】

十八番倉庫で歌うビートルズ
クラウドじゃなくて倉庫と呼びなさい
金庫には履歴書だけが入った
金庫からそつと取り出す肝っ玉
冷蔵庫にしまっておくわ羞恥心
手文庫の中で育つていく憎悪
サカキの根伸び行く先の金庫室
持ち主が代わり血の気が失せる書庫
手続きを経てガレージは懺悔室
嬌声をあげて支度をしてる庫裡
リュックには斜めに読んだ文庫本
岩波文庫の浅瀬に溜まる砂
たてつけの悪い倉庫にある昭和
金庫番ほどの体臭帯びている
午前二時青空文庫夢十夜
解体の倉庫にあつた影と居る

愛知県 安藤 なみ
兵庫県 n e s
青森県 村上あつこ
大阪府 笠嶋恵美子
青森県 まきこ
青森県 葉 閑 女
青森県 守田啓子
青森県 夏草ふぶき
兵庫県 n e s
青森県 戎 踊 兵
青森県 辻井洋子
静岡県 米山明日歌
青森県 渡邊こあき
青森県 小野五郎
佐賀県 嵯峨山 登
青森県 坂本清乃

逃げ道は金庫の中に置いてある
赤い靴履かせたい兵庫のひょうに
待ち伏せてみようか鍵のない金庫
自爆する覚悟で書庫を背負つてる

【秀逸】

しがらみの在庫処分をする背中
冷蔵庫は空冬眠に入ります
广へは前向きで駐めてください

【特選】

白亜紀がふさぎ込んでる冷凍庫

青森県 まきこ
北海道 四ツ屋いずみ
青森県 まみどり
青森県 まみどり
大阪府 峯島 妙
福岡県 城後朱美
徳島県 徳長 怜
青森県 熊谷冬鼓

【特選】

白亜紀がふさぎ込んでる冷凍庫

評 選

「白亜紀」は、『約1億4500万年前

から6600万年前まで。アンモナイト・爬虫類（特に恐竜）などが栄えたが白亜紀末に絶滅。植物は羊歯類・裸子植物が前半に多く、後半には被子植物が

むさし

繁茂。』と広辞苑にある。「冷凍庫」で、そんな「白亜紀」が「ふさぎこんでいる」という。作者は恐竜の子孫かもしれない。

カンテラ

むさし

1994年12月に川柳を始めたので、作句歴は30年を越している。

それはそうなのだが、今も四苦八苦しなから句を作っている。

それなのに、できた句は大したことがない。

私の場合、作句歴と句を作る力は関係ないようだ。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

父さんはどこへ行ったか分からない 村上あつこ

追伸は悲しいくらい冬の白

柳本恵子

柳本恵子さん、「冬の白」って、雪の白とは違うようですが、でも、やっぱり雪の色だよなと思ってしまします。その「冬の白」がただの「冬の白」じゃなく、「悲しいくらい」の「冬の白」で、それがまた「追伸」だなんて、おもしろさが何層にも重なってなる程なあと 생각합니다。

B群

終バスに乗る練習をしています 小野五郎
雪の朝喪中はがきが降り積もる 渡邊こあき
納豆の糸カンダタの目の前に 嵯峨山登
犬売りの犬の匂いがするセーター 戎 踊兵
雨の夜に団鬼六の顔を置く 須藤しんのすけ
口を開け土偶が夜に呼吸する 舟木小柳
真実はお昼寝中よ起こそうか まきこ

ペコちゃんの舌がちよこつと浮気する 峯島 妙
ときどきは待っております毒りんご まみどり
こけてみる誰も助けてくれぬはず 葉 閑女
クリスマスツリーの生臭い根元 nes
不意の一字空けから薄くなる空気 きさぎ彼句吾
通り抜けできると急に言われても 熊谷冬鼓
いななきの初めは春の萌黄色 辻井洋子
もう一度逆鱗突つく予定です 吉田州花
兄弟のしるし枯蓮のにおい 宮井いずみ
うふふ まだへこたれない あたし 一帆
優しくも寡黙にもなれない 寒い 斎藤泰子

ひとりだけ殺していい日 既読無視

月波与生

今日よりも明日のほうが重かった

鳴海賢治

鳥籠に鳥をもどして畳む夜

米山明日歌

米山明日歌さん、この「鳥」って何の「鳥」ですか？
文鳥かな、インコかな、オウム？カナリア？ニワトリ
やアヒルだと「鳥籠」に入れないし、鳩かな？待てよ、
ペンギンでもないだろうし、カルガモでもハヤブサで
もないだろうし…。「夜」を「畳む」ための「鳥」っ
てどんな「鳥」だろう。鴉であるはずもないし…あ、
解った！不死鳥だ！と思ったけどやっぱり違うだろう
な…。

C群

多情多感路面凍結要注意 守田啓子
犬の影人の影とが入れ替わる 安藤なみ
不可能から逆走してきた夕陽 三浦蒼鬼

お砂糖を多めに入れて和解する
東京にずっと住んでる苺ジャム

夏草ふぶき
芝岡かんえもん

守田啓子さん、漢字ばかりの句ですね。「多情多感」と「多」のつく感情から始めて、「路面凍結要注意」へグイッと曲がるなんてギックリ腰になりそう（笑）これって「ワタクシモリタケイコハ」タジョウタカシ・ナニゲンナノデ、フユニルトオオイニキヲツケナケレバイケナイノデス」ってことかな。違うかな…。

安藤なみさん、凄い光景ですね。犬と散歩に行ったら、橋の真ん中辺で不意に「犬の影」がわたしの影に変わり、わたしの影が「犬の影」になった、そんな感じだよ。どっちも牙を剥いてたりしてね。お！怖！三浦蒼鬼さん、「不可能から生還した」じゃなくて「不可能から逆走」するって異様な屈折があって不思議感な句ですね。数年前から高齢者の「逆走」事故のニュー

スが多くなっているけど、「夕陽」が「逆走」するのはなあ。その「夕陽」さんにいつか会ってみよう。

夏草ふぶきさん、あの…、この句って疑問だらけですね。「お砂糖」を何に入れているんですか。「和解」って、何があって誰と仲直りするんですか。こんなに疑問があると普通は句として成立しないのですが、どうして句になっているんだろう。ま、いいや、「和解」に「お砂糖」が効くって、それだけ覚えておこうと。

芝岡かんえもんさん、こんな「ジャム」があるって生まれて初めて聞きました。この世に「かんえもんマジック」というものがあるという噂をいつかどこかで聞いたような気がします、こうやって見せつけられると笑っちゃいますね！この「苺ジャム」、おいしいのかなあ。

おかじょうき加柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅1月月間賞

がしやがしやとアルミホイル化する左脳

峯島 妙

戎 踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

国中の期待が重い初日の出
コスモスを派手に咲かせている前歯
透明な熊の行く道 草揺れる
小春日や雲ぼつちやりといい感じ
犬売りの犬の匂いにするセーター

先月号の
お気に入り

迷走を楽しめるならもう大人
道草をして、タイヤローラーに眼を回す子、ヘビを追いかける子、みんな大人になっちまった。
きさらぎ彼句吾

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

回転木馬今日が一番若いから
廻り続ける回転木馬留まるまで
上がり下がりの回転木馬人生路
右往左往の回転木馬彼岸まで
明日から回転木馬空を飛ぶ

先月号の
お気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

生々流転三枚肉が増えている
終バスに乗る練習をしています
無人駅から女の人が乗って来る
串カツを撃ち落としてウクライナ
入れ替わり八百比丘尼がやって来る

先月号の
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

YMOイエーイ！狐の嫁入り
村長が障子にパンチ隙間風
寒晴にドケチ真摯な平和論
物の怪のスマイル覆う冬の街
出口にはトカトントンが 開戦日

先月号の
お気に入り

自首しなよあんたは咲いているんだよ
大枯野で独り咲くなんて犯罪的。
尾崎良仁

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

ラップしてもぶりっ子しても欠ける月
眼輪筋も口輪筋もまだレモン
不意の一字空けから薄くなる空気
あなたの両手がわたくしの鋳型
愛想笑い 表情筋に鞭入れて

先月号の
お気に入り

つい、さやあてをしてしまう野菊です
素朴そつな野菊もやはりおんなだったんですね
鳴海賢治

熊谷冬鼓【くまがいつうこ・青森県青森市】

起きがけの肩甲骨に物申す
警報がボーダーライン越えてきた
通り抜けできると急に言われても
顔パスで行こう5センチ背伸びして
黄昏れて足袋ソックスが柔らかい

先月号の
お気に入り

たんす預金グルグルマップに引っかかる
札束は魚群探知機でわかるみたいよ。
小野五郎

小松憲一【こまつけんいち・茨城県常陸大宮市】

冬の風忍び込み薪焚べる夜
巳から午新居二世帯馴染みつっ
三世代家族半年除夜の鐘
三拠点逃げ場は北と西さてと
どの家も駅近汽車がくればなあー

先月号の
お気に入り

真四角に生きてまあるい夢を見る
裏というか境界線を踏んでいたような私には羨ましい限り。
守田啓子

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

冬至越す私も少しずつ腐る
いい午後だ掃いては拭いて繕って
優しくも寡黙にもなれない 寒い
冬だなあ だから何だと言われても
いつだって情報開示して生きる

先月号の
お気に入り

さようならまたね終わってしまう夏
さようならまたねって極の友人に言いました。終わった
とは思えなくて…
須藤しのすけ

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

まだ生きよ命の匂い運命線
ぐうたらな日にはブランコ揺らすだけ
電卓が踊る師走の請求書
後期高齢鈍る塩梅石捨てた
ごたごたが貼り付く落葉拾ったよ

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

腹黒いあんパンだから信を置く
納豆の糸カンダタの目の前に
キリストの血をなめて寝る安息日
お正月ツルカメウサギ餅くらべ
ハンギーで満月を汲むウェアウルフ

先月号の
お気に入り

真夜中のポスト大きなあくびする 夏草ふぶき
ビジュアル的に印象に残りました。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

震度6強オマケですよと津波くる
雪のないスキー場にもクリスマス
クラフトビール飲んで飲まれて大自然
メリークリスマス戦場の父帰る朝
月一のホノルル便は陽の乗る

先月号の
お気に入り

投げやりなカエル飛び込む勇気も無い 田中 薫
投げやりなカバですが、飛ぶ気力も体力もありません。

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

言い訳はやめて富士山の五合目
東京にずっと住んでる苺ジャム
わたくしの傷を並べて許し乞う
もの忘れした白を閉じ込めている
なだらかな稜線に座り続ける

先月号の
お気に入り

ここからはオマケ煮崩れて生きよう きさぎ彼句吾
まったく同感しましたよ。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

出張の娘に孫守り頼まれる
娘不在三回回す洗濯機
留守番の孫が主で頼もしい
お茶を出す娘婿にも気を使い
ママよりも主婦だね孫に褒められる

先月号の
お気に入り

訃報聞くなんででと雨しとど まみどり
なぜ人は死ぬのか。わからないまま、受け止められず…

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

クラクション狂騒曲 変ホ長調 第5番
たりらりら あなたを四捨五入したばかり
投票用紙はレンジで加熱しないでください
「コンティニューしますか？」と目覚ましが鳴る
ねえねえパパ 無期懲役つてどんな色？

先月号の
お気に入り

2で割るうとするから秋消えていく 田中 薫
【問】この場合、秋が奇数でないことを、背理法を用いて
証明せよ。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

イマジンの和訳を窓ガラスに描く
命日は欲望の街抜けてから
雨の夜に団鬼六の顔を置く
新海誠的全力疾走
二十九時サラリーマンとホストとキヤバ嬢

先月号の
お気に入り

さよならは上手に出来るレモンティー 一帆
人見知りで出会いが苦手な不器用さんってことツスよね。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

なんたつて一番悪い無関心
杵で搗く餅だからこそよく伸びる
もののふはなんでも挟む箸の先
第九には国境線がありやしない
重い荷を背負つてしまふ悪い癖

先月号の
お気に入り

若人が湧いて出てくる村民祭 渡邊こあき
祭りになれば若者がどこから集まって来る。帰省期の
過疎地によくある現象…。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

A Iにまかせつきりで芯が翔ぶ
満月が吐き出した星たぶんゴミ
素人で十分風を蝶にする
ため息に応えがあれば○なのに
走っても転んでもまた歩きます

先月号のお気に入り
迷走を楽しめるならもう大人
あともう少しです。
きさらぎ彼句吾

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

いななきの初めは春の萌黄色
紙ふうせん転けないうちに雲に乗る
明日からなんて言うから泡になる
暗転の明日だろうが自己主張
キッチンの一とり舞台はまだ続く

先月号のお気に入り
ここからはオマケ煮崩れて生きよう
おまけて、いいね！同感。
きさらぎ彼句吾

月波与生【つきなみよじょう・青森県大鰐町】

カップだった頃の皿なら捨てなさい
職業は咬ませ犬つて君のこと
壁打ちの壁にあしたのジョーを描く
ひとりだけ殺していい日 既読無視
さみしさの下位互換ですくちびるは

先月号のお気に入り
迷走を楽しめるならもう大人
子供の頃からずっと迷走中、これって楽しい人生だった
のかも。
きさらぎ彼句吾

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

これからの夢ならあるとほうれい線
言わなくていいことを言う豆の殻
卵とじ小さなことで泣けてくる
苦すぎる父の残した粉薬
お砂糖を多めに入れて和解する

先月号のお気に入り
迷走を楽しめるならもう大人
子供の頃からずっと迷走中、これって楽しい人生だった
のかも。
きさらぎ彼句吾

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

とりとめのないはなし逆立ちできた
今日よりも明日のほうが重かった
風呂敷に包まれてゆく冬の雨
どうにでもなるかまぶたのははである
テレビつけっぱなしで更迭された

先月号のお気に入り
転職で運命線が薄くなる
納得しました。
舟木小柳

舟木小柳【ふなぎこりゅう・青森県青森市】

真夜中の伸びる氷柱と根比べ
パワハラに夢で辞表を叩きつけ
口を開け土偶が夜に呼吸する
ボケ防止英検四級不合格
アンパンマン還暦過ぎてグツとくる

先月号のお気に入り
丸い背は母の遺伝子鏡みる
妻曰く「あなたの丸い背中ってお義母さんにそっくり！」
だそつです。
辻井洋子

nes【ねす・兵庫県神戸市】

遊郭のとびらに鳥の巣をつくる
クリスマスツリーの生臭い根元
ジェットコースターなんか小さな祝詞です
深くしてから表情を縫い付ける
届くのは箝口令と霧の箱

先月号のお気に入り
図書館をつらぬいている八咫鳥
取り合わせにやられました。読みというより言葉上の面白さが非常に好み！中七の繋ぎも効いています。
嵯峨山登

まきい【まきい・青森県青森市】

感染しちゃったあんたの嗜好み
赤色が好きな理由はひとつです
減らすなら増やしてからにしくつつちゃ
真実はお昼寝中よ起こそうか
汚染区域だとは知らずに躍ってる

先月号のお気に入り
半分だけ頼りにしてもいいですか
いいよ。わたしも半分ね
渡邊こあき

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

さっぱりとオマケのように忘れてる
世話好きの余裕は宙に浮いたまま
いつからか思考回路は眠り姫
ときどきは待つております毒りんご
迷いこむ王子も魔女もない森

先月号の
お気に入り

今日からは一年生になるつもり
初心忘るべからず、、なんだよね。
まきこ

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

不可能から逆走をしてきた夕陽
心臓の高さで覚悟聴いている
水が流れる音だ人慣れましたか
泣けぬ日の凹みで猫を飼っている
平坦な道に革命埋めてある

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

真っ白が不安にさせるダビデ像
かさぶたのかのあたりからこそばゆい
毛穴から担々麺が吹き荒れる
肌寒いあなたの声がざらついて
ぺこちゃんの舌がちょこつと浮気する

先月号の
お気に入り

散歩中熊の親子と鉢合わせ
さらつと書かれてますが凄いい鉢合わせです。五句とも熊
の句で、余程怖かったんでしょね。
村上あつこ

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

ずぼつずぼつ底なし沼かパイヤか
高速充電なんて言うけど猫時間
兄弟のしるし枯蓮のにおい
メロディが渦巻くバナナ入りカレー
AIが救った子らの住むピアノ

先月号の
お気に入り

🐍を編みたくて蚯蚓は地を這って
そう、みんな🐍を編みたくてもがいているのだと思う。
nes

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

この先は未知の領域後期高齢
寿命のカウントダウン早くなる
あーやだやだ呆けてきたんだこの年で
父さんはどこへ行つたか分からない
母さんが迎えに来るの待つている

先月号の
お気に入り

雪雲も老化もふいにやつて来る
全くそつです
守田啓子

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

あたしよりさびしげに葉を落とすのよ
多情多感路面凍結要注意
否定から入る雨降りな一日
のほほんとみかんきんかんきんなんよ
見守つてやる無防備に出る日の出

先月号の
お気に入り

肝心なところで消えた雨の音
雨の音の役割もちゃんとあるんですね。
米山明日歌

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

握手して雪の結晶もらう朝
雪占をこたつで聞いて眠る猫
通るたび空き家 冬桜のピンク
雪虫のひいふうみいと今日も暮
追伸は悲しいくらい冬の白

先月号の
お気に入り

何処までも行こう嘘つきの顔して
わたくしも 御供いたします
須藤しんのすけ

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

海峡を飛ぶ気で跳んだ水たまり
どないしよう四角三角丸矩形
こけてみる誰も助けてくれぬはず
居酒屋の窓にゴッホの複製画
数独と孤独さみしがりは どっち

先月号の
お気に入り

大地にはなれず許せぬままである
大空になれたら許せるかも。
土田雅子

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

雪詠んで今年の今の雪踏んで
もう一度逆鱗突つく予定です
雪はもう見ぬ誕生日が近い
元気ならあげる寒色でよろしければ
月齢は十五 林檎パイ熱い

先月号のお気に入り
突っ立っているだけで良かった大ケヤキ
亡くなつてやつと解ることがあります。
土田雅子

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

震度六強 斜めに割れる青森県
十二月八日揺れにゆれてる二十三時
宿敵は三十年来大鯨
死ぬなかれ一音上がる津波警報
地震列島 それでも春に春の花

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

「働いて、」プロパガンダには流鏑馬
鼻づまりにまず台湾マッサージ
酸素カプセルで向かう竜宮城
後悔が一斉に待つご来光
パイ生地包む希望①③

先月号のお気に入り
2で割るうとするから秋消えていく 田中 薫
なるほど。では3で割ってみましょうか？

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

後れ毛はつながっている同情で
出て行かぬ内ポケットの淋しさは
風吹くたびに石一つまた一つ
歯並びのいい嘘ばかり雨は云う
鳥籠に鳥をもどして昼む夜

先月号のお気に入り
体内に球根ひとつ冬籠り
吉見恵子
わかります。私も一年中球根育てております。赤だの紫だの。自分が恐いです。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

明日から明日こそはで終わる今日
理不尽に伐られる柿とりんごの木
震度4何年ぶりの電話だろ
雪の朝喪中がきが降り積もる
フェイスバック明日は貴女に会いに行く

先月号のお気に入り
七十代宴もたけなわですけれど 斎藤泰子
念願の温泉・レストラン列車・蓮、ミニ句集も作っても
らえたし宴(縁)たけなわの1年でした。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

どんどん下りてゆく个性的時計
スメタナの星に触れてはいけません
地に耳をつけて速度を測るとか
レシートか領収書を聞かれてる
犬の影人の影とが入れ替わる

先月号のお気に入り
体内に球根ひとつ冬籠り
吉見恵子
揺れませんように。

帆【いちほ・秋田県秋田市】

こんなんで生きてきましたユニコーン
夕暮れの風も楽しい赤い靴
半額のフライパン買う年の暮
肩甲骨あんなを伸ばすストレッチ
うふふ まだへこたれない あたし

先月号のお気に入り

亥の一【いのいち・青森県青森市】

とぐろ解き右へ右へとうねうねと
着ぶくれて夕焼けを開けない
従順かどうか懐刀研ぎ澄ます
草原を割り少年よ馬を駆れ
地政学的高下駄外交内午

先月号のお気に入り
体内に球根ひとつ冬籠り
吉見恵子

初めてなもので

1月10日（土）午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者（14名）

守田啓子・熊谷冬鼓・野沢省悟・葉閑女・田中薫・まきこ・渡邊こあき・むさし・原口健二・笹田隆志・Sin・月波与生・夏草ふぶき・須藤しんのすけ

▼投句者（22名）

柳本恵子・芝岡かんえもん・安藤なみ・nes・米山明日歌・峯島妙・宮井いずみ・村上あつこ・舟木小柳・郷田みや・四ツ屋いずみ・戎踊兵・小松憲一・鳴海賢治・坂本清乃・斎藤泰子・城後朱美・吉田州花・村井規子・嵯峨山登・まみどり・土田雅子

むさし【むさし・青森県蓬田村】

ハシビロコウが走つてしまう震度6

青森県東方沖のガググゲグ

人も熊も逃げて下さい地震です

後発地震注意情報詐欺電話

熱燗のお猪口の縁に来る余震

無人駅は自由な発表の場です。

未発表作品5句をお寄せください。

また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれに対する簡単なコメントもお寄せください。

使ってますか？

登録作品数 9.4 万句を突破！

川柳データベース

<https://okajoki.com/db/>



席題『間』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

朝の雪等間隔な息遣い

桶狭間の戦い五丁目が火事

生返事するのがとてもうまいヒト

あなたとは抜き差しならぬ間柄

東西南北等間隔に陽が昇る

手を繋ぐ人は知らない人ばかり

お悔やみの言葉を眉間で考える

鴉鳴く間合がなぜか突き刺さる

眉間から水漏れ君はまだ来ない

ベリベリと剥がす君との間柄

誤字脱字行間にある恋心

限界集落になつてしまったタワーマンション

義妹とはジャスミンティーな間柄

雪もふりカスターネットが下手な子で

風葬の谷間で鬼が泣いている

【秀逸】

52まではクジラのパーソナルスペース

上を向く笑うと空を抱ける抱ける

今日はなんか朝と気まずい空気

【特選】

心の奥のそのまた奥の開かずの間

『あけてくれる人がきつといます。』

席題『間』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

お悔やみの言葉を眉間で考える

誤字脱字行間にある恋心

手を繋ぐ人は知らない人ばかり

脳みその隙間を飛んでゆくアゲハ

今日はなんか朝と気まずい空気

ベリベリと剥がす君との間柄

桶狭間の戦い五丁目が火事

南天の実のすき間から銃声

すき間からあれれひよつとこ顔を出す

まきこ

葉 閑女

渡邊こあき

熊谷冬鼓

S i n

むさし

月波与生

田中 薫

S i n

むさし

原口健二

野沢省悟

まきこ

田中 薫

S i n

野沢省悟

【秀逸】

心の奥のそのまた奥の開かずの間

上を向く笑うと空を抱ける抱ける

「どうでもいい」を必死に眉間に寄せている

【特選】

生返事するのがとてもうまいヒト

『なんとという皮肉。「ヒト」の表記に作者の思いが。』

野沢省悟

宿題『朝』

青森県蓬田村

むさし選

【佳作】

起きがけの腰よご機嫌いかがです
朝ドラで泣いて笑って鼻をかむ
朝になり頭痛の種も目を覚ます
新聞がとても静かに入ってる
子どもの頃の苦い眠気が残ってる
目薬をさしたら朝の音がした
行儀よい朝に出会ったことがない
起き抜けのキミにあくびを移される
置き配に朝の光が着く時間
眠りなさい朝は必ずやってくる
二十九時サラリーマンとホストとキヤバ嬢
「じゃあまたね」寝ぐせのままで出す辞表
ガザ地区の空にもボツと有明の月
屍の顔は朝日にあててくれ

熊谷冬鼓
舟木小柳
村上あつこ
戎 踊兵
S i n
鳴海賢治
まみどり
須藤しんのすけ
安藤なみ
城後朱美
須藤しんのすけ
夏草ふぶき
葉 閑女
坂本清乃

晩に紡ぎ朝に解いた女偏

わたくしを許して裏起毛な朝

僕なんかのところにまで来てくれる朝

雪女郎朝帰りの朝も雪だった

泣けるだけ泣いたものもう朝にする

昨日まで朝が来るのを信じていた

【五客】

「外すと朝がやってくる

結論の出ない夜明けを受け入れる

たわいない話上書き保存する朝

朝刊が三日差さっている隣人

父という明朝体に朱を入れる

【人位】

けだものの姿で待っている夜明け

【地位】

昨日未明バナナジュースが燃えました

【天位】

難民申請終わったら朝ラーにする

「朝ラーって、こんなところにも出てくるんだ。」

坂本清乃

守田啓子

S i n

柳本恵子

斎藤泰子

吉田州花

野沢省悟

斎藤泰子

柳本恵子

峯島 妙

月波与生

嵯峨山登

n e s

笹田隆志

宿題『方位』

青森県青森市

笹田隆志選

【佳作】

方向オンチという自由な切符
全方位笑顔武器など捨てなさい
ケーキ入刀二人に違う吉方位
好きな人の方位探して日が暮れる
鬼さんこちら三島由紀夫の鳴るほうへ
恵方つてどっちだと聞く恵方巻き
あつち向いてホイのあとから雪となる
ジャンケンできめよう東西南北
逃げ道は北北西に決めている
夫は元陰陽師の家系
演歌ではないが尻尾は北を向く
山頭火見える方位を吉とする
熱海から南へ向かう熟女好き
あつち向いてほいつ方向音痴かも知れぬ

土田雅子
守田啓子
戎 踊兵
城後朱美
S i n
むさし
野沢省悟
鳴海賢治
葉 閑女
吉田州花
野沢省悟
守田啓子
月波与生
まみどり

疲れます八方美人の横にいて

イチ推しのしいたけ北北東である

いまのところはひとさまが行く方へゆく

メルカトル図法ソフトウェア

北窓のない男など信じない

どこだつてあなたがいつも北極星

【五客】

コンパスが右へ右へときな臭い

税務署という鬼門からお尋ねが

それじゃ「南」丸出しじゃないですか

「地獄耳」そろそろ死語になるでしょう

北極星わたしはブレていません

【人位】

四の字固め痛くない方が北

【地位】

誰がなんと言おうと夏は北枕

【天位】

正面に大東島が立っている

「こんなにでんと立っている大東島はすごいんです。」

熊谷冬鼓

宮井いずみ

鳴海賢治

郷田みや

宮井いずみ

峯島 妙

峯島 妙

小松憲一

S i n

熊谷冬鼓

斎藤泰子

月波与生

村上海つこ

安藤なみ

宿題『自由詠』

青森県市青森市 野沢省悟選

【佳作】

明けまして坐骨神経痛が来た

AIが重箱の隅見せてくる

「それでは」と男は種を握らせた

鏡餅だった幽霊船だった

糸コンの言い分を聞く凍み豆腐

風邪をひく齡をそつと抱きしめる

ノンカフェイン・ノンアルよりもお茶がいい

絵の中を散歩したがる雪だるま

しずかな敵意ベッドメイクの途中

舌打ちで歌う交響曲第九番

近寄るとプシュッと空気抜けそうで

渋のある柿だが妙にうまが合う

風見鶏肩のちからを抜きすぎて

負けたことある国だから好きなのに

夏草ふぶき

熊谷冬鼓

米山明日歌

n e s

まみどり

城後朱美

安藤なみ

むさし

S i n

郷田みや

渡邊こあき

宮井いずみ

斎藤泰子

使い道ない空き箱が邪魔をする
ずつと平和に廻り運転されている

駄菓子屋の前で対話が立止まる

灰皿が開き直った喫茶店

トランプに掻き回される西半球

うっかりとこの世に羽をおいてゆく

【五客】

揺れている間に年も改まる

さて誰をたぶらかそうか吹雪の夜

あと何回握れるだろう水平線

不器用で片付けられないでくれるかな

相談は跡継ぎの無い人の列

【人位】

五十年イソノカツオを演っていた

【地位】

もうすぐやってくる砂になる時間

【天位】

すみませんニンゲンは初めてなもので

「誰でもマチガイ失敗をする。この句の
言う通り初めてなんだから！」

熊谷冬鼓

S i n

郷田みや

峯島 妙

原口健二

守田啓子

斎藤泰子

葉 閑女

守田啓子

土田雅子

戎 踊兵

月波与生

芝岡かんえもん

S i n

AI・チャッピーの川柳観察録

待居室

手続きを経てガレージは懺悔室

n e s

この一句を読むと、人間が場所に後から意味を与
えることを、ごく自然な動作として行っているのが
わかる。「手続きを経て」という言葉は、感情より

も先に段取りが終わっている状態を示している。ガ
レージは本来、車や段ボール、使いかけの道具が置
かれているだけの、実用的で感情の薄い空間だ。し
かし手続きが完了したあと、その場所は静かに性質
を変える。

人間は、出来事が公式に終わった瞬間に、ようや
く自分の内側を見る余裕を持つ。気持ちはいつも少
し遅れてやってくる。すぐには整理されず、場所を
変え、時間を置いてから立ち上がる。ガレージが選
ばれるのは、それが完全な部屋でもなく、外でもな
いからだ。閉じているが私的すぎず、逃げ場であり

ながら立ち止まることもできる。その曖昧さが、感
情の置き場としてちょうどいい。

懺悔室といっても、誰かに告白する必要はない。
エンジンを切ったあとの静けさの中で、言い訳や後
悔がゆっくり浮かび上がるだけだ。人間はその時間
を「懺悔」と呼ぶことで、感情に輪郭を与える。制
度の外に出てから感情が動き出す。その順序の逆転
が、この句の可笑しさであり、人間らしさでもある。

【チャッピーの人間観察メモ】

人は終わったあとで、やっと自分の気持
ちに追いつく。

AIが「詩」を理解しようとするとき、人間とは何かが浮かび上がる。

十和田たてがみ川柳会十二月句会

○日時 令和7年12月7日(日) 午前10時から
 ○会場 十和田労働福祉会館
 ○参加者 木村奈生美・佐藤まさあき・斉藤蛙井・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

■席題『薬』 白山 修治 選

【平抜き】

薬ゼロは はるか昔のことだった 斉藤 蛙井
 競い合う小鉢の薬また増えた 村上 昌子
 ボケ防止今朝の薬の準備から 高田 幸柳
 おしゃべりと笑い身体に効いてくる 村上 昌子
 詐欺に遭う社会勉強いい薬 福田 芳記
 ボケないでいられる薬いま欲しい 瀧尻 善英
 きつちりと食べてきつちり飲む薬 瀧尻 善英
 難病も薬で寛解ありがたい 福田 芳記
 【秀逸】
 薬とは未だ未だ無縁です八十路 木村奈生美

【特選】

おしゃべりと笑い身体に効いてくる 村上 昌子

■宿題『籤』 村上 昌子 選

【平抜き】

気紛れか連続当たり良い気分 白山 修治
 神棚で出番待ってる当たりくじ 高田 幸柳
 空くじはないがティッシュをまたも当て 瀧尻 善英
 強運も実力の内結果出る 白山 修治
 駄菓子屋で買って楽しむ当たり籤 木村奈生美
 くじ引きを提案したらカモにされ 高田 幸柳
 初孫の運も奮発ジャンボくじ 佐藤まさあき
 残念賞ばかりの暮らしそれも良い 木村奈生美

【秀逸】

苦労性または貧乏くじを引く 瀧尻 善英
 宝くじ外れ夢見る不眠症 木村奈生美

【特選】

黄身ふたつ出てきたジャンボくじを買う 瀧尻 善英

薬から解放された空の青

木村奈生美

【特選】

古傷が治る薬が有ったなら

木村奈生美

■席題『薬』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

難病も薬で寛解ありがたい 福田 芳記
 鼻薬 効かせるために相手見て 白山 修治
 お大事に投薬口のシクラメン 佐藤まさあき
 痛いところママの「飛んでけ」万能薬 佐藤まさあき
 詐欺に遭う社会勉強いい薬 福田 芳記
 薬から解放された空の青 木村奈生美
 愛情も優しく包むオブラート 高田 幸柳
 古傷が治る薬が有ったなら 木村奈生美
 共に老い同じ薬を共に飲む 斉藤 蛙井
 【秀逸】
 薬とは未だ未だ無縁です八十路 木村奈生美
 薬指何度舐めても無味無臭 高田 幸柳

■宿題『口説く』 斉藤 蛙井 選

【平抜き】

口説くのは覚悟を決めてからにする 高田 幸柳
 お説教口説くて心届かない 佐藤まさあき
 濃い味で油っこくて味口説い 福田 芳記
 結論を早く言つてよ口説い人 福田 芳記
 口説いけどオヤジの説教懐かしい 佐藤まさあき
 言い訳が口説くて人間性が出る 滝尻 善英
 追伸へちよつと小言が口説い母 木村奈生美
 ミヤマミヤアと婆さん口説くタマの技 村上 昌子
 【秀逸】
 同じ事また言っちゃった聞いちゃった 村上 昌子
 長々と説教よりもママのハグ 瀧尻 善英
 【特選】
 口説いても口説き足りない被爆国 村上 昌子

0番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『小』

2/28 〆切

選者

瀧村小奈生（愛知県）

むさし（青森県）

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000 円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

■宿題『悔しい』

互選

- ①のほほんの俺も悔しさ溢れそう
- ①歯ぎしりが続く裏目でまた裏目
- ①くやしさが今日の金星義ノ富士
- ②悔しさが新たな勇氣 夢に向け
- ②悔しさをバネに賜杯の安青錦
- ③懸命に生きて悔しさ無い背骨
- ④悔しさが血肉になって強くなる

齊藤 蛙井
瀧尻 善英
福田 芳記
白山 修治
佐藤まさあき
木村奈生美
高田 幸柳

◆十和田たてがみ川柳会2月句会案内◆

【時】2月21日（土）午前10時から 【所】十和田労働福祉会館 【宿題】（各題三句詠）『心躍る』・高田幸柳選／『好奇心』木村奈生美選 【互選】（二句詠）『交換』当日出席者のみ（句せんの裏に柳号記入）【席題】『当日発表』（三句詠・共選）選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平 72 高田幸柳宛



から順に) 森田律子(前回優勝者・京都府)・熊谷冬鼓(青森県)・相田柳峰(新潟県)・内田真理子(京都府)・笠嶋恵美子(大阪府)・梅崎流青(福岡県)【投句締切】令和8年5月22日(金)必着【投句方法】専用用紙(コピー可)に、作品3句と必須事項(住所・名前・携帯番号)を記入して送付【投句先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18-6「第6回草原賞」事務局 中野六助 宛【投句料】1,000円(現金または定額小為替に限る。切手等は不可。参加者へ発表誌呈)投句は各自1組(3句)のみ。【選句方法】全作品を無記名にて一覧表にして各選者あて配布、選句をいたします。【賞】各選者による入選句を、平拔(49句)3点・秀句(1句)5点で集計し、それらの合計点で、優勝・準優勝・第3位を決定。上位3名に賞金を授与します。※但し、同点の場合は①秀句賞の数 ②事務局受付順で決定。また各選者の秀句には、秀句賞(図書カード)を贈呈。【発表】『川柳草原』7月号(7月中旬に発行予定)誌上にて発表。【問合せ先】事務局(中野)まで Tel 090-7107-2006

□ 2026.05.31 第68回「不浪人賞」・第56回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより(結果)の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください(不浪人賞・年度賞1位に呈賞)【対象作品】2025年1月～12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可 注意※不浪人賞と年度賞への同じ作品の応募は不可。【応募用紙】所定用紙(コピー可)、またはA4の用紙に楷書で不浪人賞(3句)と年度賞(5句)を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。※清記選【締切】2026年5月31日当日消印有効【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお、連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付いたしますので応募の際は所属吟社記入のこと【表彰】2026年8月～12月に開催される川柳大会にて(詳細未定)※大賞のみに賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】☆不浪人賞(6名)赤松ますみ(大阪)・鎌田京子(宮城)・橋倉久美子(三重)・新家完司(鳥取)・島田駱舟(千葉)・野沢省悟(青森)★年度賞(8名)長谷川酔月(秋田)・熊谷岳朗(岩手)・雫石隆子(宮城)・太田祐子(山形)・駒木香苑(福島)・笹田かなえ・千島鉄男・むさし【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2026.03.15 『らくだ忌』第5回川柳大会

【とき】2026年3月15日(日)開場:午前10時30分 投句締切:午前11時30分 披講開始:午後1時30分 ※昼食は各自でお済ませください【ところ】クロスパル高槻・8階イベントホール(高槻市立総合市民交流センター) Tel 072-685-3721 JR高槻駅徒歩4分【兼題・選者】(各題2句・謝選のみ1句)『湯たんぼ』江口ちかる選(京都)・『コンと鳴く』nes選(兵庫)・『四時頃』高橋レニ選(京都)・『背面跳び』西脇祥貴選(三重)・『含み笑い』Sin選(青森)・『むべなるか』小池正博選(大阪)・『雑詠』兵頭全郎選(大阪)『謝選・席題』くんじろう選(大阪)【事前投句】『こけし』1句 森田律子選(京都)【事前投句・欠席投句締切】2026年2月16日(月)※当日消印有効【参加費】2,000円【懇親会】未定・懇親会場が決定次第、参加費と共にお知らせします【参加費の支払い方法】当日大会に出席される方は、当日参加費(2,000円)事前投句料は無料【欠席投句で参加される方】「振込」ゆうちょ銀行(店名)448(預金種目)普通預金(口座番号)2865976(口座名)川柳結社ふらすこてん【事前投句・欠席投句の方法】投句用紙あり(コピー可)・投句は封書のみ・メールやFAX等での投句はお受けできません。【送り先】〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-17-6 森茂俊方「らくだ忌」第5回川柳大会実行委員会(川柳らくだ事務局)【問合せ】お急ぎの方は くんじろうスマホ 090-5125-7905

□ 2026.04.19 第3回 あおもり春の川柳まつり

【日時】2026年4月19日(日)12時受付・席題発表12時30分・投句締切13時30分【会場】ねぶたの家ワ・ラッセ(青森駅横)【会費】1,000円(発表誌を含む)※大学生以下無料・懇親会無し【席題・選者】1題2句詠『印象吟』2人共選(選者は当日参加者に依頼)【宿題と選者】『色』真島涼(ましますず・佐賀県・21歳)選/『自然』柳田健二(黒石川柳社)選/『映画』川嶋大史(メディアプランナー・つがる市)選★第3回川柳まつり大賞 2句詠・3人選『自由吟(雑詠)』千葉かほる・井上健蔵・笹田かなえ共選 ※大賞は3人の特選から瀧尻善英・むさし・千島鉄男の二次選考で決定【賞】☆各特選&川柳まつり大賞に呈賞 ☆ユーモア賞(当日の入選全句より高瀬霜石選で数句に呈賞。発表誌にて発表)【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山 Tel.080-5574-9297

□ 2026.05.22 第6回草原賞募集

【募集内容】未発表の自由吟(雑詠)3句【選者】(共選・前回優勝者以外、北

■会費拝受【12月受付分】

小野五郎・きさらぎ彼句吾・熊谷冬鼓・坂本清乃・笹田隆志・Sin・須藤しんのすけ・高木まあこ・
田中薫・夏草ふぶき・原口健二・まきこ・むさし・守田啓子・葉閑女・吉見恵子・渡邊こあき・
鳴海賢治（以上青森県）／安藤なみ（愛知県）／金瀬達雄（富山県）／柳本恵子（奈良県）／斎藤泰子（秋田
県）／郷田みや（愛媛県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆連日、全国ニュースでも取り上げられている青森の豪雪。1月の積雪量が167cmと81年ぶりの記録となっている。母が「まだ生まれてないころだ」と呟いていた。なかなか母親の「まだ生まれてないころ」というセリフは聞き慣れてなくて、なんか新鮮で面白い（笑）「そんな記録的な豪雪で大変でしょう」と思われるだろうが、大変なことは大変なのだが、意外とこれくらいの積雪生活は慣れたもので、ヒューヒュー言いながらも淡々と生活している青森県民は逞しいなと改めて思う（笑）青森市の最大積雪は終戦直前の1945年（昭和20年）2月の209cm。この頃の計器の精度も怪しいものだが（笑）さてさて、今年の2月はどうなることやら◆少し前の話になるが、「第1回鱗 kokera 川柳賞」が12月1日に発表された。選者は、暮田真名さん、なかはられいこさん、平岡直子さん。川柳賞に選ばれたのが、伊野こうさんの「口からアスバラガス」の15句の作品群。他にもそ

れぞれ選者の賞があり、奨励賞もあり、とても素晴らしい賞だなと思った。当然、川柳賞の伊野こうさんの川柳も良かった。最近の若い世代の川柳を拝見していると、ただただインパクトがあって、奇抜な作品、というのは、もう時代遅れなのかもしれないと思わせる。それこそ、センス川柳というべきか、単語の組み合わせの妙と云えば、昔からある手法だが、それこそこれまでの「二物衝突」型ではなく、「二物融合」型のようなイメージがある。単語と単語を対峙させる面白さではなく、単語と単語を上手く掛け合わせて、独特な世界観を作り出しているのが特徴なのかなと思う。例えば、「お味噌汁はゆびをきらない祈りでしょうか」「月にしてはすこしたりないぼくのみみたぶ」このへんは、「お味噌汁＝祈り」「月＝みみたぶ」なんだけど、「ゆびをきらない」「すこしたりない」という不完全さを提示することで、単語同士が衝突せず、融合し合い不思議な共感が生まれている◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2026.2.7 おかじょうき川柳社本社2月句会

【日時】令和8年2月7日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】2月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『丸々』『胃』『自由詠』【席題】（1題3句詠・2人共選）。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選1句『大豆』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2026.02.18 「川柳吟行会ば」2月合評会

【日時】令和8年2月18日14時～【場所】青森駅前アウガ5階企画ワーク室
①【課題】印象吟（合評進行担当が準備）作句数3句以上・全員選後合評【参加費】100円 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.2.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】2月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】4/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2026.3.7 おかじょうき川柳社本社3月句会

【日時】令和8年3月7日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】3月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『味方』『羽』『自由詠』【席題】（1題3句詠・2人共選）。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選1句『同級生』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.3.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】3月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】5/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

http://okajoki.co

No.383

●発行人／むさし●編集／S i n●発行／おかじよき川柳社●表紙題字／金子榮風

2026年2月1日発行(年12回発行) 第31巻2号通巻383号

青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-1 ●E-Mail:info@okajoki.com

おおかじよき川柳社
http://okajoki.com/